

## <金標準、25100 円の壁を超える事が出来るか・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は、ホルムズ海峡封鎖の解除を前提としない停戦の可能性に言及した事からポジティブな反応を見せ、またイラン大統領が条件付きで停戦の意思を示すなど、緊張が和らぐ動きを見せている。またパウエル FRB 議長は講演でエネルギー価格の上昇によるインフレへの差し迫った影響が和らぐ発言を行うなどリスクオンの巻き戻しを見せている。しかしトランプ大統領が国民向けに演説を行い「今後 2~3 週間でイランへの激しい攻撃を行う」と言及するなど、停戦ムードが一転して戦争継続ムードへ移行した事からリスクオフの動きを強めている。ただ株価の下落も落ち着きを見せ、流動性確保を目的とした貴金属売却の圧力は一巡しており、また週末の雇用統計で非農業部門雇用者数が 17.8 万人増と前月の 13.3 万人減から改善を示し、当面 FRB は金利据え置きを維持する可能性は高まっている。しかし今週はトランプ大統領のイラン攻撃が激化するリスクが高まると見られ、24000 円~25000 円の往来相場が続く可能性は強まると思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り上げ、シグナルは下げ止まっている。RCI は短期が維持しながら、長期は下げ止まっている。ただ日足が指数平滑移動平均線のレンジから離脱していない事から 25100 円の壁を超える事が出来るかに注目が集まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 10,685,000 円(2026 年 4 月 6 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 105,600 円(2026 年 4 月 6 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>